

令和元年度  
事業報告

公益社団法人 横浜歴史資産調査会

## 令和元年度事業の概要

「歴史を生かしたまちづくり」に大切な歴史的資産を都市計画の視点から戦略的に調査・保全・活用を開始してから30年を経過した。

令和元年度も歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を生かした魅力溢れるまちづくりに向けて歴史的資産の調査研究をはじめ、保全・活用を目指した保護事業も積極的に実施した。

さらに「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために、広く市民や専門家を対象にセミナーや講演、シンポジウム等を開催した。

併せて、「歴史を生かしたまちづくり」を円滑に行うための普及啓発、人材育成事業を行った。

令和元年度において実施した具体的な事業は次のとおりである。

注) 氏名については敬称略。

所属・役職等については、事業実施時点のもの。

# 1. 歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）

## （1）歴史的建造物保全・活用計画関連調査等

### （ア）歴史的建造物保全・活用関連調査

歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を保全・活用するため調査を実施した。調査は現地での歴史的資産の現状把握及び所有者へのヒアリング、文献調査、写真撮影等である。調査結果は、当公益団体の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり推進事業」に活用するとともに、横浜市認定並びに登録歴史的建造物等への具体的な保全・活用をするために役立てることとした。

#### <自主調査>

#### ① 旧湘南電鉄（京浜急行）瀬戸変電所の構造調査及び同変電所保存活用委員会の設置と開催（横浜市金沢区）

##### a. 調査等

当公益団体が将来、京浜急行電鉄より寄贈を受け保存・活用計画を実施するに当たり、平成29年度は建屋のコンクリート等の耐震診断調査及び現況把握調査、平成30年度は地盤並びに建物の振動性等の調査を実施した。

令和元年度は、7月に保存活用に向けた調査及び所見作成、2月にレーザーを用い建屋の鉄骨や鉄筋調査を行った。建屋は、鉄筋や鉄骨を併用した強固な構造で建設されていることが判明した。

調査日 令和元年7月11日（木）、令和2年2月26日（水）

調査者 後藤 治（工学院大学理事長）

田村雅紀（工学院大学教授）

##### b. 保存活用委員会の設置と開催

旧湘南電鉄瀬戸変電所の保存活用を推進することを目的に委員会を設置し、開催した。

委員長 後藤 治（工学院大学理事長）

委員 西澤 英和（関西大学教授）

田村 雅紀（工学院大学教授）

小野田 滋（公益財団法人鉄道総合研究所情報管理部担当部長）

山本 博士（公益社団法人神奈川台場地域活性化推進協議会理事長）

梶山 祐実（横浜市都市デザイン室長）

吉田 鋼市（当公益団体 副会長・横浜国立大学名誉教授）

オブザーバー

原 幸一（京急電鉄(株)工務部 課長補佐）

三浦 拓也（同 主任）

事務局

米山 淳一（当公益社団 常務理事）

菅井 稔（当公益社団 旧瀬戸変電所保存活用プロジェクト主任研究員）

保存活用委員会等の開催

第1回 令和元年10月2日(水)10:30～12:00

京急本社会議室

第2回 令和2年2月5日(水)10:30～12:00

横浜市役所特別会議室

ワーキング会議 令和2年3月30日(月)18:30～20:00

さくらワークス会議室

## ② 旧倉石忠雄家住宅現況把握調査等（長野県千曲市）

長野県北信地区の生糸や絹織物集散地として横浜と歴史文化的関係の深い千曲市稲荷山地区（国重要伝統的建造物群保存地区）にある旧倉石忠雄家住宅（元衆議院議員・労働大臣、農水大臣を歴任）の国重要文化財指定に向けての現況把握調査を平成30年度から継続で千曲市歴史文化財センターの調査費で実施した。

また、倉石家の土蔵内の文献調査等につき所有者と打ち合せた。

調査日：令和元年9月10日(火)

調査者：後藤 治 氏(工学院大学理事長)、吉澤正己 氏(建築史家)

矢島宏雄 氏(千曲市歴史文化財センター所長)他

担当：米山淳一（当公益社団 常務理事）

## ③ 旧モーガン邸復元にむけた調整（藤沢市大鋸）

「歴史を生かしたまちづくり相談室」の案件である。不審火で焼失した旧モーガン邸の再生を目指し、平成29年度に実施した復元再生計画調査の結果を踏まえ、再生に向けた調整を所有者である藤沢市、公益財団法人日本ナショナルトラスト(JNT)と行った。

特に JNT とは同財団が所有する土地等について、当公益社団への譲渡に関する調整を、当公益社団の顧問法律事務所所属の弁護士・司法書士による指導で行った。

協力者：松本武之弁護士、尾谷恒治弁護士、谷口貴則司法書士  
（共に早稲田リーガルコモンズ法律事務所）

## <受託調査> 歴史的建造物の保全計画案等の検討 [横浜市受託事業]

### ① 歴史的建造物の概況調査等

「歴史を生かしたまちづくり」において保全等が必要なものについて、現地調査や専門家による調査・修理等の助言をもとに調査骨子を作成した。

- a. 旧藤本家住宅主屋及び東屋(鶴見区)  
調査に関する意見聴取  
担当：大野 敏 (当公益団理事・横浜国立大学教授)
- b. 旧圓通寺客殿 (旧木村家住宅主屋) (金沢区・認定)  
移築復元工事、埋蔵文化財の保存方法の助言等  
担当：大野 敏 (当公益社団理事・横浜国立大学教授)
- c. 旧斎藤家住宅(鶴見区)  
建物の概況調査  
担当：大野 敏 (当公益社団理事・横浜国立大学教授)
- d. カトリック山手教会堂聖堂 (中区)  
今後の外観改修工事に関する助言  
担当：関 和明 (当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)
- e. 旧横浜生糸検査場附属生糸絹物専用 B 号倉庫及び C 号倉庫(中区)  
保存部位の保存方法、見せ方等に関する助言  
担当：吉田鋼市 (当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)
- f. ホテルニューグランド本館 (中区)  
保存箇所や修復工事に関する助言  
担当：吉田鋼市 (当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)
- g. 岩田健夫家住宅 (中区)  
移築保存に向けた戦略やスケジュールに関する助言  
担当：水沼淑子 (当公益社団理事・関東学院大学教授)
- h. 赤レンガ倉庫 (中区)  
今後の修繕工事や運営方法に関する助言  
担当：吉田鋼市 (当公益社団副会長・横浜国立名誉大学教授)
- i. 綜通横浜ビル(中区)  
今後の修繕工事や照明計画に関する助言  
担当：吉田鋼市 (当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)
- j. 横浜貿易会館 (中区)  
今後の外観工事や改修内容に関する助言  
担当：吉田鋼市 (当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)

### ② 登録及び認定歴史的建造物等の候補対象調査

横浜市登録または認定歴史的建造物の候補対象の建造物等の調査を行った。

- a. 旧ヘルムハウス（中区）  
アイアンワーク銘板の監修  
担当：吉田鋼市（当公社団副会長・横浜国立大学名誉教授）
- b. 山手西洋館（山手 234 番館他 6 館・中区）  
西洋館土足利用に関する意見書の作成  
担当：吉田鋼市（当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授）  
関 和明（当公益社団理事・関東学院大学名誉教授）  
水沼淑子（当公益社団理事・関東学院大学教授）  
内田青蔵（当公益社団社員・神奈川大学教授）  
青木祐介（横浜市都市発展館副館長）
- c. 横浜貿易会館（中区）  
保全誓約書添付資料の作成  
担当：吉田鋼市（当公益社団・横浜国立大学名誉教授）
- d. 横浜海洋会館（中区）  
保全誓約書添付資料の作成  
担当：吉田鋼市（当公益社団・横浜国立大学名誉教授）

### ③ 歴史的建造物に関する保全・活用計画案の策定、変更案の作成

横浜市の認定候補と認定歴史的建造物の保全活用計画の策定、変更案を作成した。

- a. 旧横浜外防波堤北灯台及び南灯台（中区）  
保全計画案監修  
担当：中藤誠二（当公社団社員・関東学院大学教授）  
志澤正勝（横浜みなと博物館元館長・学芸アドバイザー）
- b. 旧横浜生糸検査所附属生糸絹物用 B 号倉庫及び C 号倉庫（中区）  
保全活用計画変更案監修  
担当：吉田鋼市（当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授）
- c. 中山恒三郎家店及び書院（港北区）  
保全活用計画変更案監修  
担当：大野 敏（当公益社団理事・横浜国立大学教授）

### ④ 歴史的建造物に関する制度等の検討

横浜市歴史的風致維持向上計画骨子作成に向けたヒアリング調査を行った。

調査指導：後藤 治（工学院大学理事長）

### <受託調査> 歴史的風致維持向上計画作成検討 [横浜市受託事業]

- a. 横浜市歴史的風致維持向上計画に関する歴史的資産の現況調査  
標記の事業に関し、横浜市内の山手、関内、金沢地区における歴史的建造物や近代化遺産、民俗芸能等の歴史的資産の現況を把握するとともに分布図を作成した。  
調査協力：株式会社山手総合計画研究所

b. 歴史的風致維持向上計画策定に関する先進地調査

全国で最初に標記計画を事業として導入した先進地である高山市(岐阜県)の現況調査を行った。

高山市は、国重要伝津的建造物群保存地区に選定されている三町、下二之町、大新町等を重点地区に定め、その周辺の景観形成地域も含めて標記計画対象地域とし、国土交通省の「まちなみ環境整備事業」他を導入し約10年間にわたり景観整備を推進した。

その結果、高山らしい歴史的景観を取り戻すとともに地域活性化に効力を発揮している。

調査日：令和2年3月23日(月)

調査先：高山市都市政策部都市計画課政策企画係

担当：米山淳一(当公益社団常務理事)

**(イ)歴史を生かしたまちづくり相談室の実施**

歴史を生かしたまちづくり推進事業を円滑に進めるために、より広く市民等から関連の情報を集める相談室を開設している。

令和元年度の新規相談は、2件。

① 西教寺(南区)

西教寺本堂は昭和5年建造の鉄筋コンクリート造りである。住職や専属の設計業者から横浜市認定歴史的建造物または横浜市指定有形文化財への希望があった。これに関して横浜市担当部局はすぐには対応出来ないとの答えがあった。そこで当公益社団では、建物の現況調査や所有者へのヒアリング調査おこない、所見をまとめた。

これを礎に直面している屋根の修理や認定、指定に向けた新たな展開を探ることとなった。

調査日；令和2年3月26日(木)

担当：堀 勇良(当公社団理事 建築史家)

大野 敏(当公社団理事 横浜国立大学教授)

② 住友重機浦賀ドックの機関工場保存(横須賀市)

明治32年建造のレンガ造のドックとともに市民らが保存運動を行っていた鉄骨造りの機関工場が、令和2年3月に解体の危機に直面し、横須賀開国史研究会と横須賀市都市景観係担当者から保存に向けての相談と協力依頼があった。

浦賀ドックや関連施設の保存活用計画に関しては、以前から、当公益社団の宮村忠会長を筆頭に、当公益社団役員、北澤猛氏(故人・元横浜市都市デザイン室長)も関心を寄せていた。

そのため、当公益社団では、関係する横須賀市担当者や住友重機械工業横須賀支社総務課長に面会し、ドライドックと機関工場をセット保存するよう交渉した。

しかし、既に解体工事計画が進んでおり、後戻りは出来ないとして

住友重機械工業は、保存に耳を傾けてくれなかった。

面会日：令和元年12月19日(木)

担当：米山淳一（当公益社団常務理事）

## (ウ) 俣野別邸庭園内歴史的建造物の助言・指導業務

### [公益財団法人横浜市緑の協会受託事業]

平成29年4月から公開された「俣野別邸」（横浜市戸塚区）の管理運営に関する助言や同邸内職員等への研修セミナーをはじめ、同協会が管理する施設での市民向け歴史講座、展示やコンサートなどのイベントの企画調整、実施の運営協力などを行った。

#### ① 研修セミナー・市民歴史講座

令和元年10月17日(木) 15:00～16:00

俣野別邸庭園職員セミナー

講師：米山淳一（当公益社団常務理事）

演題：「こみせが宝・黒石と城下町弘前市の根性」

令和元年11月7日(木) 13:30～14:30

市民向け山手歴史講座・基礎編

会場：ベーリック・ホール

講師：水沼淑子（当公益社団 理事）

演題：「山手の歴史と西洋館」

令和元年11月14日(木) 13:30～14:30

市民向け山手歴史講座・応用編

会場：ベーリック・ホール

講師：米山淳一（当公益社団常務理事）

演題：「開港都市の歴史を生かしたまちづくり～函館、神戸、長崎、横浜」

令和元年11月23日(土) 10:30-12:00

馬場花木園旧藤本家住宅オープニングイベント・市民向け古民家講座

講師：米山淳一（当公益社団常務理事）

演題：「各地に息づく茅葺き民家」

令和元年12月2日(月) 16:00～17:00

旧伊藤博文金沢別邸職員セミナー

講師：水沼淑子（当公益社団 理事）

演題：「伊藤博文の邸宅～金沢別邸と大磯本邸滄浪閣を中心に」

令和元年12月19日(木) 15:00～16:00

俣野別邸庭園職員セミナー

講師：米山淳一（当公益社団常務理事）

演題：「開港都市の歴史を生かしたまちづくり～函館、神戸、長崎、横浜」



令和2年1月16日(木) 14:00～15:00

俣野別邸庭園職員セミナー

講師：米山淳一（当公益社団常務理事）

演題：「開港都市の歴史を生かしたまちづくり～函館、神戸、長崎、横浜」※前回12/19の続き

令和2年2月20日(木) 14:00～15:00

俣野別邸庭園職員セミナー

講師：米山淳一（当公益社団常務理事）

演題：「近代化遺産を活かしたまちづくり」

令和2年3月14日(木) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止

市民向け歴史講座

会場：俣野別邸庭園

講師：安川千秋（写真家）

演題：「みなと横浜のうつろい～その歴史的景観の魅力」

② 企画展の企画協力・運営支援（会場：俣野別邸庭園）

俣野別邸庭園が実施する企画展「絵本と玩具でたどる こども達の見た鉄道100年」の企画協力、展示方法等の運営支援を行った

開催期間：令和元年7月27日(土)～8月4日(日)

③ コンサートの企画協力・運営支援（会場：俣野別邸庭園）

俣野別邸庭園が実施するコンサートについて、昨年度の続き、瀬川祥子さん(ヴァイオリン)と後藤泉さん(ピアノ)による「ヴァイオリンとピアノのデュオリサイタル at 俣野別邸」の企画協力、運営支援を行った。

日時：令和元年11月9日(土) 14:00～15:30

曲目：ストラヴィンスキー；イタリア組曲

クライスラー；美しきロスマリン、愛のよろこび、  
愛の悲しみ、シンコペーション

クララ・シューマン；3つのロマンス Op. 22 より第1曲

ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ  
第10番

参加者：50名

③ 山手公園管理センター（旧山手68番館）の解説板の作成・監修等

横浜市緑の協会本部から依頼を受け、老朽化していた旧山手68番館の解説板の作成・監修等を行った。

解説文と作図：関 和明（当公社団理事・関東学院大学名誉教授）

監修：公益社団法人横浜歴史資産調査会

協力：株式会社山手総合計画研究所

## (2) 保全・活用事業

### 野毛都橋商店街ビル(横浜市中区)

平成 29 年 9 月に、公益財団法人横浜市建築助成公社より寄贈を受けた「野毛都橋商店街ビル」の保全・活用を積極的に行った。日常管理を行っている横浜野毛商業協同組合と共同で、管理等に関し情報交換を行うほか、特に映画・テレビドラマ等でのロケ撮影に協力するなど、広く一般に歴史文化的価値をアピールした。

また、超広角レンズを使用したカメラにより建物全体の撮影を行ったほか、当公益社団オリジナルデザインによる同ビルの解説板を製作し設置した。

ロケ撮影を行った映画・ドラマ等

- ・短編映画「海風」(監督 行定勲)
- ・映画「まともじゃない君も一緒」(監督 前田弘二)
- ・映画「きみの瞳が問いかけている」(監督 三木孝浩)
- ・WOWOW ドラマ「悪の波動」
- ・NHK-BS ドラマ「歪んだ波紋」
- ・フジテレビ系ドラマ「10 の秘密」
- ・テレビ朝日系ドラマ「ケイジとケンジ～所轄と検察の 24 時」
- ・NHK スペシャル「未解決事件～JFK ケネディ暗殺」
- ・亀田製菓公式インスタグラム
- ・スポーツデポ (アルペン) テレビコマーシャル

## (3) 普及啓発、人材育成事業

### セミナー・シンポジウム等の開催及び刊行物の作成

歴史を生かしたまちづくりを推進するためには、市民、専門家、企業等の理解や参加が大切である。歴史的資産の保全・活用のための普及啓発を目的としたセミナー等の開催及び刊行物の作成を、以下のとおり行った。

<自主事業>

#### ① シルクロード・ネットワーク・南砺市フォーラム 2019

日 時：令和元年 6 月 22 日(土)

見学会(南砺市内五箇山相倉集落、城端町、井波町等の絹文化遺産等)、交流会

令和元年 6 月 23 日(日)

フォーラム(講演、事例報告)

主 催：公益社団法人横浜歴史資産調査会、  
NPO 法人 街・建築・文化再生集団(RAC)

共 催：南砺市

後 援：富山県、一般財団法人大日本蚕糸会 他

基調講演：

富所弘充(国土交通省 都市局公園緑地・景観課 景観・歴史文化

環境整備室課長補佐)

梅津章子 (文化庁文化資源活用課整備活用部門文化財調査官・文化財管理指導官)

基調報告:

松井文一 (株式会社松井機行代表取締役)

島田優平 (井波日本遺産推進協議会ワーキンググループ座長)

山川智嗣 (株式会社コラレ アルチザンジャパン代表取締役)

事例報告:

南砺市、神戸市、白川村、千曲市、日野市、横浜市、飯能市、小川町、前橋市、福島市、新庄市、鶴岡市

コーディネーター:

後藤 治(工学院大学理事長)、米山淳一(当公益社団 常務理事)

参加者: 約120名

## ② 日本鉄道保存協会総会 2019 長浜大会の開催支援

令和元年度から、当公益社団は日本鉄道保存協会に加盟し、標記総会に参加するとともに、総会、講演、シンポジウム、交流会、見学会の開催支援を行った。

なお、日本保存鉄道協会の代表幹事団体は、公益財団法人交通協力会が長年務めてきたが、諸事情により本総会を以てその役目から降りることとなり、当公益社団がその後を引き受けることになった。

日 時: 令和元年9月26日(土)~27日(日)

場 所: 北ビワコホテルグラツィエ (滋賀県長浜市)

基調講演:

北内泰久 (若桜駅を元気にする会)

開催地報告:

岩崎公和 (長浜市観光振興課長)

シンポジウム「鉄道遺産を活かしたまちづくりと地域活性化」

パネリスト:

増田一条 (敦賀市観光部観光交流課長)

中村正直 (南越前町観光まちづくり課長)

三浦英之 (京都鉄道博物館館長)

亀澤 修 (小坂町町史編纂室長)

コーディネーター

米山淳一 (日本鉄道保存協会事務局長)

総括

花上嘉成 (日本鉄道保存協会顧問)

見学会: 旧北陸本線の鉄道遺産見学会

③ 「コンサート in ヘリテージ～ピアノが案内する横浜の歴史とまち  
Vol. 8～」 (第14回横浜山手芸術祭参加)

日 時：令和元年1月29日(水) 午後6時30分～午後8時

場 所：横浜市イギリス館<<横浜市指定文化財>>

ピアノ演奏：後藤 泉さん

解 説：長谷川 正英 (横浜市環境創造局)

曲 目：

- ・ベートーヴェン～リスト編；交響曲第8番～へ長調 Op. 93  
より第2楽章
- ・ヴィラ・ロボス；3つの星
- ・ドビュッシー；版画より「塔」
- ・J・シュトラウス；春の声
- ・ムソルグスキー；展覧会の絵

協 力：横浜市都市整備局

協 賛：株式会社三陽物産

参加者：約60名

④ 「ヨコハマヘリテージ・セミナー2020～旧モーガン邸の新たな船出～」  
(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期)

日 時：令和2年3月20日(金) 午前10時30分～12時15分

場 所：藤沢市 Fプレイス

共 催：NPO法人旧モーガン邸を守る会

協 力：藤沢市、横浜市都市整備局

プログラム：

主旨説明

「再建に向けた事業の経緯と展開」

米山淳一 (当公益社団常務理事)

講演

「旧モーガン邸再建調査報告と計画について」

水沼淑子 (当公益社団理事 関東学院大学教授)

「NPO法人旧モーガン邸を守る会のこれまでとこれから」

徳重淳子 (同NPO法人会長)

シンポジウム

「旧モーガン邸再建に向けて皆でエールを送ろう」

コーディネーター：

菅孝能 (株式会社山手総合計画研究所会長)

パネリスト

廣田邦夫 (湘南藤沢文化ネットワーク会長)

渡辺剛治 (清閑亭館長)

鈴木美都子 (旧横浜ゴム平塚製造所記念館・八幡山の洋館)

総括

後藤治 (工学院大学理事長)

⑤「ヨコハマヘリテイジ・ブックレット3 横浜の茅葺き建築」の発行

体裁：A6版 32ページ、カラー

部数：1,000部

原稿執筆：大野敏（当公益社団 理事・横浜国立大学教授）

<受託事業>

歴史的建造物の保全活用に関する広報普及業務 [横浜市受託]

歴史的資産の保全・活用に関して市民、専門家、企業等からの理解や協力、支援を目指して、「歴史を生かしたまちづくりセミナー」の開催、「歴史を生かしたまちづくり 横濱新聞」の編集・印刷、「都市の記憶-横浜の土木遺産」復刻版の版下調整・印刷を行った。

①「歴史を生かしたまちづくりセミナー Vol. 4 2

～野毛山のヒミツ～どうしてハマっ子の憩いの場となったのか?～

日 時：令和元年8月4日(日) 午後3時～午後5時30分

場 所：横浜市中心図書館 B1F ホール

プログラム：

第1部

講演：「野毛山はどうしてハマっ子の憩いの場になったのか？」

講師：青木祐介 氏(横浜都市発展記念館副館長)

講演：「野毛山配水池の歴史」

講師：寺井宏治 氏(横浜市水道局中村水道事務所長)

第2部

野毛山公園と野毛山旧配水池を巡るミニツアー

参加者：約80名

②「歴史を生かしたまちづくり 横濱新聞」第35号の編集・印刷

印刷部数は3,500部。市民、関係機関、当会会員等への配布を行った。

③「都市の記憶-横浜の近代建築(Ⅱ)復刻版」の印刷

印刷部数は150部。横浜市のみならず納税「歴史的景観保全活用事業」への寄附返礼品として活用した。

## 2. 会員事業

当公益社団の事業の益々の発展を目的に、広く継続的な支援を得るために賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ個人会員の募集を行った。

また、賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ個人会員向け会報誌「ヨコハマヘリテイジ・スタイル」を年に4回(季刊)を発行するとともに、ホームページを通じて活動を広く発信した。

『ヨコハマヘリテイジスタイル』（A3 2つ折り 4ページ）

- ・2019 夏号（令和元年 8 月 15 日発行）
  - 1 ページ：「ごあいさつ」 宮村忠（当公益社団 会長）
  - 2～3 ページ：「公益社団法人横浜歴史資産調査会 今年の仕事」  
米山淳一（当公益社団 常務理事）
- ・2019 秋号（令和元年 11 月 15 日発行）
  - 1 ページ「開館 20 周年を迎えた山手 234 番館」
  - 2～3 ページ「歴史的建造物の宝庫 横浜山手」  
水沼淑子（当公益社団 理事）（1～3 ページ）
- ・2020 早春号（令和 2 年 2 月 28 日発行）
  - 1 ページ「消えゆくホイストクレーンの倉庫群 山下埠頭」
  - 2～3 ページ「山下埠頭の歴史を振り返る」  
安川千秋（写真家）（1～3 ページ）
- ・2020 春号（令和 2 年 3 月 31 日発行）
  - 1 ページ「ヨコハマヘリテイジ法人会 10 周年によせて」  
宮村忠（当公益社団 会長）
  - 2～3 ページ「ヨコハマヘリテイジ 10 年のあゆみ」

### 3. 周年特別事業

#### 横浜歴史資産調査会設置 30 周年・法人化 10 周年記念式典・交流会の開催 （※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期）

昭和 63 年設置の横浜市歴史的資産調査会 発足から 30 年、そして神奈川県認可の一般社団法人横浜歴史資産調査会、さらに内閣府認定の公益社団法人横浜歴史資産調査会となり、法人化 10 周年を機に記念式典・交流会を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催の延期をした。当初の予定は次のとおり。

日 時：令和元年 3 月 6 日（金）午後 6 時 30 分～午後 9 時  
場 所：ホテルニューグランド フェニックスルーム

### 4. 書籍販売事業（収益事業）

令和元年度においては、以下の刊行物の販売を行った。

- ・「都市の記憶—横浜の主要歴史的建造物（第 6 版）」  
販売冊数：151 冊
- ・「ヨコハマヘリテイジ・ブックレット 2～ 港・鉄道・横浜」  
販売冊数：20 冊
- ・「都市の記憶—横浜の土木遺産」（昭和 63 年発行・平成元年第 2 刷）  
販売冊数：10 冊

以 上